

浜田市議会議長 牛尾昭 殿

公明クラブ 佐々木豊治 ㊟

視 察 報 告 書

下記のとおり視察を行いましたので報告します。

1、期間 平成20年10月27日（月）～同年10月28日（火）

2、視察先と調査内容

松江市立城北小学校

東出雲町立東出雲小学校

東出雲町立揖屋小学校

松江市

学校図書館を活用した授業の取り組みについて（校内授業研修会の視察）

バイオディーゼル燃料の取り組みについて

3、参加議員氏名 佐々木 豊治

4、精算額 13,387円（宿泊料 4,420円 ガソリン代及び有料
道路代 8,967円）

5、調査の概要

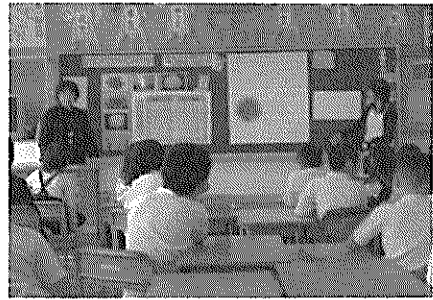
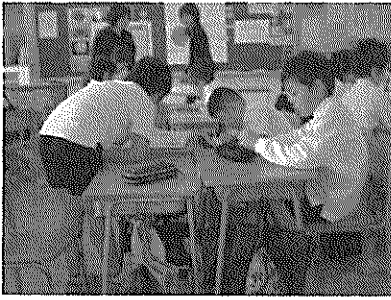
「学校図書館を活用した授業の取り組みについて」

私はこれまで2度にわたり、一般質問で「学校図書館司書の配置」について、とりあげてきましたが、さらに見識を深め、最新の情報を得るために、今回、県内の先進地である、東出雲町・松江市の公立学校3校の公開授業を視察しました。

図書館活用教育推進されている八洲学園大学の高鷲先生他、全国の関係者数名も同行され、視察されておりました。

◆松江市立城北小学校

9時45分からの3年1組の国語の授業を視察。先生は担任と司書教諭の2人での協働授業。百科事典を活用しての調べ学習の内容でした。司書教諭は担任を持ちながら、週5時間の授業軽減をしてもらいながらの取り組みでした。この過程には、学校司書がいて、準備をしてもらえるから、司書教諭が授業に出られることを伺い、学校挙げての取り組みを感じました。



◆東出雲町立東出雲小学校

12時半ごろおじゃまして、昼休みの図書館のようすから視察させていただきました。給食時間が終わると、生徒達がどっと図書館に押し寄せ、見る見る広い図書館はいっぱいになり、思い思いに生徒達が目的の本を読んだり、貸し出しに行列ができる光景を見ることができました。



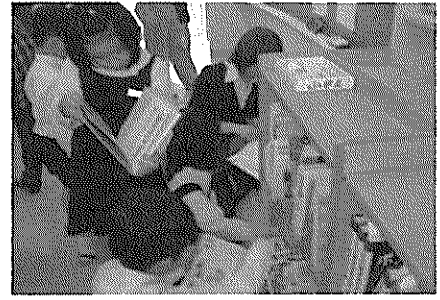
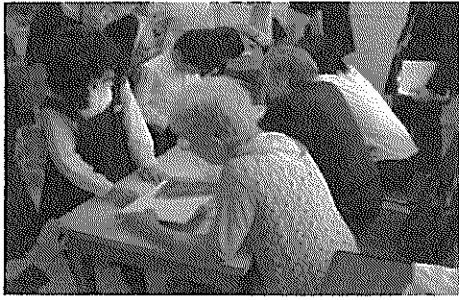
その後、3年2組の国語の授業を視察しました。内容は、古典の「おくのほそ道」を学ぶもので、グループごとに芭蕉の訪れた地や俳句を調べさせ、当時の芭蕉の心情を想像し、写真集からそのイメージを選ぶものでした。また、滞在地からの移動についても現在の時刻表で調べいくものでした。司書によって準備された多くの資料を担当、専任の司書教諭、司書の3者が手際良く、生徒に提供しているすがたが印象的でした。

◆東出雲町立揖屋小学校

8時50分から特別支援学級の授業を視察。絵本のカードを使って子供達に担任、司書教諭、司書が質問するものでした。

2校時目の5年生の授業は、グループごとに「ごみ問題」の研究発表を行い、聞いていた人が「情報カード」に気になることをまとめるものでした。

3校時目の3年生の授業では、調べたい食べ物を用意された資料を利用し、3者（担任・司書教諭・司書）がアドバイスしながら、子ども達が調べていくものでした。また、この授業には、地域のボランティア3名も加わって、子ども達からのわからない用語の質問に答えておられました。



いずれも、担任と司書教諭、それに司書の3者がそれぞれの役目を理解し、協働するなかで、すばらしい授業が展開されていました。特に東出雲町については、教育委員会のなかに、学校図書館支援センターが設置されており、町をあげて学校図書館を支援されており、まさに、先進の取り組みをされておりました。「すべての子どもが自ら学ぶ力を身につけて、この町の未来を拓いてほしい」との願いをこめて。

「バイオディーゼル燃料の取り組みについて」

松江市では、ごみの減量化、水質汚染の防止、バイオマス資源の有効利用などとして、廃食油をバイオディーゼル燃料化（軽油の代替燃料）し、車両燃料への再利用を行っている。

平成14年から取り組み、現在34ヵ所に廃油の回収ボックスを設置して、年間3万7千リットルを回収し、市有車9台分の燃料となっている。

リサイクルプラントの事業費は約3千3百万円で、2遠心分離機を搭載し、より純度の高い燃料化を図っておられた。

人口の少ない当市での取り組みは難しいと考えるが、広域での取り組みを視野に入れ、今後、調査・研究していきたい。